

施策評価管理シート

2022(令和4)年6月作成

施策体系	政 策	3	活力に満ちて暮らせるまち	担当部局(室)名	部局長名
	基本施策	1	地域産業の振興		
	施 策	1	農林資源	産業部	内匠 勝也

1. 施策の基本方針(目指す将来像)



- 市民が健康で豊かに暮らせる“なばり農業”の創造を目指して、農業マスタープランを基本とした施策を展開し、農業の振興を図ります。
- 農林業基盤の整備とともに、農山村や農地・山林の持つ多面的機能の向上を図り、田園や森林環境と調和する快適で美しいむらづくりを推進します。
- 森林を生産林と環境林に区分し、目的に応じた整備を進めるとともに、効率的かつ安定的な林業の育成を図ります。

2. 令和3年度の実施内容及びその成果



- ・地域特産作物育成の一環として、本市で栽培されている又は栽培されていたものの中から新たな特産作物となり得る候補を探索し、タネ菜、チンヤ、山椒等が候補にあがりました。それらの栽培特性の把握や市場調査等を行い、新たな作物の特産品化、農家所得の向上につなげる一歩となりました。
- ・多彩な担い手育成や新規就農に向けた環境整備を目的として、農業初心者が意欲と能力を有する農業者から助言等を受けることができる「農の相談役」事業を展開し、初心者への疑問や不安の解消を図りました。
- ・農業経営基盤強化促進法に基づき利用権設定された農地に係る固定資産税を減免する制度を創設し、耕作放棄地の発生防止や中心的な担い手への農地集積の促進を図りました。
- ・農村の共同作業を多面的機能支払制度や中山間地域等直接支払制度により支援し、担い手不足や耕作放棄地対策を「人・農地プラン」の策定や見直しにより地域と共に検討を行いました。また、「小さい農業」を推進し、小規模耕作地での担い手育成や農福連携の取組も行いました。これらの取組により農村の多面的機能の維持、担い手による農地集積、新規就農者育成、農業体験訓練による障害者就労などの成果に繋がってきています。
- ・農業用水路・農道・ため池等の農業用施設の老朽化が進む中、安定した農業生産を維持するため、関係機関や地域と連携を図りつつ、本来の機能が発揮できるようストックマネジメントの取組により計画的な補修を行い、長寿命化を図りました。
- ・ため池耐震工事につなげるため、ため池耐震調査(18池)を実施しました。
- ・みえ森と緑の県民税市町交付金を活用し、危険木の伐採、未利用間伐材のバイオマス利用促進、災害からライフラインを守る事前伐採事業、災害緩衝林の一体整備事業等を実施しました。
- ・森林環境譲与税を活用した森林経営管理を進めるため、名張市森林経営管理基本計画に基づき、矢川地区で意向調査、布生地区で境界明確化を実施しました。

3. 施策指標(目標)の達成状況



施策指標(目標)の内容(単位)		基準値(H29)	2018(H30)	2019(R1)	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	進捗率
名張市の農産物(米・果樹・野菜等)の消費量や知名度が高まっていると感じる市民の割合(%)	目標	-	-	-	-	-	47.3	
	成果	44.6	46.6	42.4	43.8	42.1		0.0%
認定農業者数(人)	目標	-	-	-	-	-	43	
	成果	38	39	40	39	37		0.0%
下刈り、枝打ち、間伐等の森林施業面積(環境林を除く)【延べ数】(ha)	目標	-	-	-	-	-	585.9	
	成果	460.9	470.0	485.6	499.4	518.8		46.3%

4. 成果や施策指標の状況を踏まえた課題や現状の分析



- ・農林業の担い手不足は、農地や山林の荒廃化だけでなく、農村そのものの消滅につながる恐れがあります。
- ・大規模経営による農地集積だけでなく、家族経営等の「小さい農業」の推進など、本市の「多彩な担い手」の状況に応じたきめ細かな対応が必要です。
- ・小規模耕作地で安定経営を行うため、高収益作物の生産や6次産業化による新たな作物の高付加価値化を推進する取組が重要となっています。
- ・本市の農産物の消費喚起および知名度の向上を図るため、特産品(伊賀米、伊賀牛、ブドウ、イチゴ、美旗メロン等)の更なるブランド力強化に加え、新たな特産品として候補に浮上した作物のブランド化に向けた継続的な取組が必要です。
- ・農業施設のため池の決壊による災害を防止するため、管理者に適正な維持管理を促し保全に関する施策を講じる必要があります。
- ・適切な森林管理の意識啓発をはじめ林業への関心や意欲増進のため、みえ森と緑の県民税市町交付金を活用し、森林教育等の事業を展開する必要があります。
- ・森林の経営管理は全国的な課題となっており、森林環境譲与税を有効に活用した森林整備を進めていく必要があります。

5. 分析結果を踏まえた施策の取組内容（令和4年度以降）



- ・令和3年度、新たな特産作物としての可能性を探る調査等を行ったタネ菜、チシャ、山椒について、令和4年度以降も継続してそれぞれの作目に合った育成を行うとともに、同時に候補に浮上していたジュニパーベリーについて、新たにその利用可能性の探索や市場性把握を行うなど、特産品開発に取り組みます。
- ・高齢化が進展し耕作放棄地が増加するなか、現在耕作されている農地を将来につなぐため、地域が話し合いにより「人・農地プラン」の策定を進められるよう情報提供や支援を行います。
- ・新規認定農業者の拡充や就農希望者が安心して就農できるよう、市内の農業者（就農アドバイザーとして登録された農業者）から実践的な助言等を受けられる制度を整え、そのマッチング等を行います。
- ・多面的機能支払制度、中山間地域等直接支払制度による支援を継続し、農村地域の公益的機能の発揮に努めます。特に、第5期対策に移行した中山間地域等直接支払制度に関しては、集落の将来像を具体的に定める「集落戦略」の作成を支援します。
- ・安定した農業生産を維持するため、農業用施設についてストックマネジメントの取組により計画的な補修を行い、長寿命化を図っていきます。
- ・防災重点ため池の耐震調査（令和3年度から5年度）に着手しており、今後は防災工事の検討を行っていきます。
- ・みえ森と緑の県民税市町交付金を活用し、赤目保育所の園庭の木質化を行うとともに森林教育の授業等の実施や、「伊賀一ノ井松明調進行事」に用いるヒノキの植樹等、森と人をつなぐ学びの場づくりを進めます。
- ・森林環境譲与税を活用し、合意形成ができた地区から優先的に意向調査の実施、境界の明確化、森林経営管理権集積計画の策定を年次的に進めることで森林整備の推進を図ります。

施策を構成する主な事務事業

*R3決算額が事業費1,000千円以上の事務事業を掲載しています（施設等維持管理、内部管理事務の事業を除きます）。

*R4予算は、R4.4.1時点での金額を記載しています。（R3からの繰越額含む。）

*R4予算のみ金額が記載されている事務事業（新規事業）は、R4の事業内容（計画）を記載しています。

単位：千円

会計	事務事業名	部局名	室名	令和3年度内容	R3決算額 (見込)	うち 一般財源	R4予算額
一般	6次産業化施設整備事業	産業部	農林資源室	地域資源を活用した6次産業化施設の導入に取り組む事業者に対し、国補助金による補助金交付を行います。	0	0	42,111
一般	みえ森と緑の県民税市町交付金事業	産業部	農林資源室	みえ森と緑の県民税市町交付金を活用し、次の事業を行いました。 ・危険木伐採事業 ・森林公園等環境活用整備事業 ・未利用間伐材バイオマス利用推進事業 ・人家裏危険木伐採事業 ・学校林整備事業 ・森林環境教育推進事業 ・桜並木保全管理事業 ・無形民俗文化財保全事業 ・災害からライフラインを守る事前伐採事業 ・流域防災機能強化対策事業（災害緩衝林一体型）	25,756	0	21,008
一般	基幹水利施設ストックマネジメント事業	産業部	農林資源室	経年劣化した農業施設の幹線水路、水管理施設を整備することにより、被害の未然防止、安定した用水供給による生産性の向上及び維持管理経費の節減を図りました。（県事業の負担金） ・青蓮寺用水2期、青蓮寺用水3期、宇陀川用水	3,681	1,150	0
一般	共有水路改修事業	産業部	農林資源室	管理者不在となった施設について、安全確保のため整備を行いました。 ・水路改修工事 3箇所	1,588	488	0
一般	経営所得安定対策推進事業	産業部	農林資源室	需要に応じた米の生産、水田を有効活用した戦略作物の生産振興、水田農業の構造改革推進等を図るため、国から直接交付される経営所得安定対策等交付金の円滑な交付と事業の推進を行う名張市農業再生協議会に対し、補助金の交付等を行いました。	4,954	276	5,768
一般	県営農村振興総合整備事業（伊賀2期地区）	産業部	農林資源室	農業用ため池等の補強工事を行いました。 ・長坂スゲン谷池工事 ・滝之原集道1号工事ほか	2,020	1,231	0
一般	県営農村振興総合整備事業（伊賀2期地区）＜令和2年度繰越分＞	産業部	農林資源室	＜令和2年度繰越分＞ ・長坂上池工事 ほか	2,011	1,630	0
一般	県営農道保全対策事業（伊賀地区）	産業部	農林資源室	広域農道（伊賀コリドールロード）の保全工事を行いました。	1,500	200	0
一般	耕地事業補助金	産業部	農林資源室	名張市土地改良区、地元区水利組合等を対象に農業用施設の補修工事等への補助金を交付しました。	1,962	1,962	2,000
一般	主食用米次期作支援事業	産業部	農林資源室	令和3年産の米価下落の影響を受けた農家に対し、営農意欲及び生産基盤の維持を目的として、次期作生産に向けた米の種子代及び肥料代の一部を支援しました。 ・対象者数 415人	9,553	1	0
一般	団体営ため池等整備事業（新田6期地区）	産業部	農林資源室	新田水路改修の第6期整備事業として、事業を実施しました。 ・水路整備工事 L=229m	10,600	1,750	49,600

施策を構成する主な事務事業

*R3決算額が事業費1,000千円以上の事務事業を掲載しています（施設等維持管理、内部管理事務の事業を除きます）。

*R4予算は、R4.4.1時点での金額を記載しています。（R3からの繰越額含む。）

*R4予算のみ金額が記載されている事務事業（新規事業）は、R4の事業内容（計画）を記載しています。

単位：千円

会計	事務事業名	部局名	室名	令和3年度内容	R3決算額 (見込)	うち 一般財源	R4予算額
一般	森林経営管理 事業	産業部	農林資源室	長期的な林業の低迷や森林所有者の世代交代等により、適切に管理されていない森林が増加しており、災害防止や水源かん養といった森林の公益的機能の維持増進に支障が生じていることから、森林経営管理法に基づく森林の公的な管理を実施するための意向調査を実施しました。 ・意向調査対象面積 A=84.57ha（名張市矢川地内） ・境界明確化対象面積 A=38.75ha（名張市布生地内）	3,850	0	16,669
一般	生活応援米支給事業	産業部	農林資源室	新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、様々な困難に直面した方々に対し、速やかに生活・暮らしの支援を行う観点から、生活困窮世帯等に対し、1世帯当たり水稲うるち米10kgを無償配布しました。 ・対象世帯 2,854世帯	1,349	1	36,591
一般	多面的機能支払交付金事業	産業部	農林資源室	市内の農地・水・環境の良好な保全と質的向上を図るための共同活動・向上活動に対して支援を行いました。 ・農地維持への支援 農業者等による組織が取り組む、水路の泥上げ等地域資源の基礎的保全活動等を支える共同活動を支援しました。 ・資源向上への支援 地域住民を含む組織が取り組む、水路、農道等の軽微な補修や景観形成等の農村環境の良好な保全活動を支援しました。 ・施設長寿命化への支援 農業施設の長寿命化のための補修、更新等を行う組織を支援しました。	30,287	7,407	35,074
一般	団体営かんがい排水事業 (八幡地区)	産業部	農林資源室	老朽化の著しい施設を整備することにより、維持管理費用の低減と用水の安定供給を図りました。 ・田井中統合井堰改修工事 N=1式	4,980	427	0
一般	団体営かんがい排水事業 (八幡地区) <令和2年度繰越分>	産業部	農林資源室	<令和2年度繰越分> ・田井中統合井堰改修工事 N=1式	60,000	0	0
一般	中山間地域所得確保推進事業	産業部	農林資源室	中山間地域における所得確保を目指し、新たな特産品候補の探索を行いました。有望なものについては栽培特性の把握や市場調査、加工品試作等を行い、特産品化につなげました。	5,001	1	0
一般	中山間地域等直接支払事業	産業部	農林資源室	生産条件の不利な中山間地域等において、協定を締結し農用地の維持・管理を行った集落等を単位に、農用地面積に応じた一定額を助成しました。	10,182	1,977	12,547
一般	鳥獣害防止事業	産業部	農林資源室	有害鳥獣による被害防止のため、宇陀・名張地域鳥獣害防止広域対策協議会による対策や、被害地区と猟友会ほか関係機関との連携を図り、効果的な防除及び捕獲を行いました。 ・シカ 502頭 ・イノシシ 36頭 ・アライグマ 89頭	5,688	1,888	5,860

施策を構成する主な事務事業

*R3決算額が事業費1,000千円以上の事務事業を掲載しています（施設等維持管理、内部管理事務の事業を除きます）。

*R4予算は、R4.4.1時点での金額を記載しています。（R3からの繰越額含む。）

*R4予算のみ金額が記載されている事務事業（新規事業）は、R4の事業内容（計画）を記載しています。

単位：千円

会計	事務事業名	部局名	室名	令和3年度内容	R3決算額 (見込)	うち 一般財源	R4予算額
一般	農業次世代人材投資事業	産業部	農林資源室	青年の営農意欲の喚起と就農後の定着を図るため、経営が不安定な就農直後（5年以内）の所得を確保するための資金を交付しました。 ・対象者 1人	1,374	0	1,500
一般	農業水路等長寿命化・防災減災事業	産業部	農林資源室	用水施設の改修を行うことにより施設の長寿命化を図るほか、被害の発生を未然に防止する取組を実施し、維持管理コストの低減を図りました。 ・農業用水施設整備 1件	1,012	116	4,800
一般	農村地域防災減災事業 (三ヶ村井堰地区)	産業部	農林資源室	三ヶ村井堰について老朽化による決壊時の被害を未然に防ぐことを目的とした補修・補強を事業計画を実施しました。 ・詳細設計業務N=1式	1,360	80	3,360
一般	農地銀行農地移動適正化事業	農業委員会事務局	農業委員会事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・農業経営基盤強化促進法に基づく利用権の設定（農地の新規利用集積実績10.3ha） ・新規参入、規模拡大、集積を目指す農業者へ農地パトロール等による農地情報の提供。 ・人・農地プランについて5月に錦生（宇陀川工区：安部田）地区にて説明会及びアンケート調査を実施しました。また、11月には青蓮寺地区にて説明会及びアンケート調査を実施しました。 ・臨時職員賃金 1,046千円 ・共済費（保険料） 168千円 	1,214	35	2,487